

モニター調査事業について

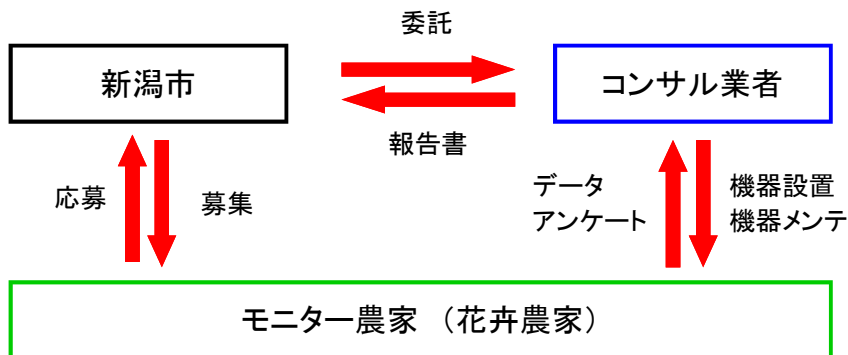
1 目的

もみ殻のビニールハウス暖房用燃料としての利用可能性の検証

2 調査の視点

- ① 燃烧(暖房)機器の実用性関する検証(機器は日常的に使用できるものか)
- ② 燃料の実用性の検証(燃料の確保, 燃料ハンドリングに問題はないか)
- ③ 焼却灰の利用に関する検証(焼却灰の利用は可能か)

3 事業概要



【募集数】2件(無加工, ペレット)

【調査期間】平成27年11月～平成28年3月(延長も検討, できれば3年間)

【費用負担】機器の設置, 機器メンテナンス, 燃料代は市が負担

【その他】燃烧条件を変えながら焼却灰の成分を調査
焼却灰の肥料効果を水田で検証

《事業のイメージ》



もみ殻の燃料活用
(無加工, ペレット)



農業における
エネルギー循環



焼却灰の効果を
検証

